

令和5年度 事業計画書

公益財団法人ヒロシマ平和創造基金

事業名		事業内容及び計画	事業費
平和活動	推進事業	<p>「ヒロシマの心」を表現し、平和を訴えるポスターを制作する。例年広島市などを通じて海外や平和団体などに配布している。また、5月19日～21日に広島で開かれるG7サミット会場で展示できるよう広島市等関係各所と進行中。7月から8月には例年通り広島市内で「アピールズポスター展」を開催。また、新しい取り組みとして告知や平和、芸術教育のため、日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)会員が市内小学校を訪問してポスター鑑賞、グラフィックデザイン・芸術に関する課外授業を検討しており準備が整い次第順次行う。ポスターはJAGDAと共同制作。事業は1983年から続いており、毎年同協会の会員代表1名が「ヒロシマの心」を言葉を超えて訴えるポスター「ヒロシマ・アピールズ」をボランティアで制作している。</p>	197万円
		<p>当年度は国内外から関心の高い“ヒロシマ情報”の発信を目的としている。 当基金と中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターで構成する「コンテンツ選定委員会」として、2020年に中国新聞社が新聞協会賞を受賞した特集「ヒロシマの空白」を英訳にして発信、新たに発見された写真にも英訳説明をつけ被爆地広島から世界平和と核兵器廃絶を訴える。ウクライナ情勢やその支援などの情報発信を検討する。</p>	295万円
		<p>ヒロシマピースグラントは、被爆50年の節目の年に当たる1995年に平和創造への願いを込めて創設され、被爆体験の継承、平和創造のための活動をしている個人、団体の活動企画に対して支援を行っている。当年度も公正な審査を経て十数件の助成を実施する。</p>	420万円
	支援事業	<p>例年5月3～5日の3日間、広島市の平和大通り、平和記念公園を中心に開かれるひろしまフラワーフェスティバルだが、2023年度はG7広島サミットが5月19～21日の3日間開催されることに伴い、6月10(土)、11(日)の2日間で開催される。ひろしまフラワーフェスティバルは広島祭委員会・広島市・広島県・広島商工会議所・広島青年会議所・広島観光コンベンションビューロー・中国新聞社・中国放送で構成する「ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会」が主催し、広島と世界を結ぶ平和と花の祭典として1977年に始まり、新型コロナ前は毎年160万人前後の人出があった。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止、2021～2022年度は規模を縮小して開催された。 当年度も引き続き下記の2事業に支援する。 ①花の塔およびフラワーキャンドルの設営 ②花のモニュメント</p>	595万円

国際交流活動	推進事業	国際交流フェスティバル(ぺあせろべ)	<p>ヒロシマの祈りと願いを国内外に広く発信するため、広島在住の外国人家族や留学生らと市民が集い、食や遊びを通してお互いの文化に触れ、共に楽しみながら国際交流を図る。通称「ぺあせろべ」と呼ばれるこの国際交流フェスティバルは“PEACE&LOVE”をスペイン語風に発音して作られたことばで、1984年から開催され、市民に親しまれている。当年度も当基金はボランティアグループで作る実行委員会に加わり主催する。</p>	166万円
	支援事業	ヒロシマスカラシップ	<p>当事業は1997年から始まり、広島県在住者または出身者で、海外や国内でさまざまな芸術の分野にチャレンジする若い芸術家たちに奨学金を支給する。当年度も公正な審査等を経て10名程度に対し下記の奨学金を支給する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海外留学奨学金 公募(募集期間7～8月)により選出し、1名につき年間36万円を支給する。支給期間は最高2年間。分野(音楽は除く)は特に定めない。 ●中村音楽奨学金 公募(募集期間7～8月)により選出し、1名につき年間36万円の奨学金を最高2年間支給する。対象は国内・海外を問わないが、音楽分野に限る。 	805万円
		国際交流奨励賞	<p>平和創造の願いの実現には、国境を越えた市民活動が重要な役割を担っているが、広島県内でもアジア大会を機に多くの団体・個人が相互理解と信頼関係を深める国際交流を展開している。こうした中当基金としても教育・学術・文化など広い分野にわたって国際交流や平和創造に貢献した団体・個人をたたえることを目的に、公募申請または推薦のあった団体・個人を対象に表彰状と奨励金を贈っている。当年度も公正な選考・審査の上、受賞団体等を表彰する。</p>	145万円